

日本文化人類学会公開シンポジウム

大学で学ぶ文化人類学

フィールドワーク教育の試みと可能性

主催：日本文化人類学会 共催：愛知県立大学地域連携センター、中部人類学談話会

2014年7月26日（土）13:30～16:45（開場13:00）
愛知県産業労働センターウインクあいち 10階 大会議室1001
（名古屋市中村区名駅4-4-38、JR名古屋駅から徒歩5分）

- ・ 公開で開催されます。どなたでも自由にご参加ください。
- ・ 事前申込は要りません。当日会場に直接お越しください。参加無料。

学生たちとともにフィールドへ出かけ、さまざまな方法を組み合わせながら調査と成果公開、社会への還元に取り組んでいる大学の事例をもとに、文化人類学の魅力と、大学教育のこれからについて考えます。



手話通訳あります



- 赤嶺 淳（一橋大学） 「学生とともに聞き書きをする：インタビューと記録の技法」
亀井伸孝（愛知県立大学） 「学生とともに写真展をする：野外撮影の技法と公開の姿勢」
南出和余（桃山学院大学） 「学生とともに映像作品を作る：映像人類学の技法と新たな表現発信」
内藤直樹（徳島大学） 「学生とともに地域に暮らす：調査実習と地域への成果還元」
竹川大介（北九州市立大学） 「学生とともに店を出す：市場からまなぶ人づきあい」
松田 凡（京都文教大学） 「学生とともにエチオピアを訪ねる：海外調査実習と国際協力」
コメント 和崎春日（中部大学）
総合討論 「文化人類学の未来とフィールドワーク教育」

■連絡先・お問い合わせ

亀井伸孝（日本文化人類学会公開シンポジウム担当理事／愛知県立大学）
〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3 愛知県立大学 亀井研究室
nobutaka.kamei@gmail.com
<http://www.jasca.org>